



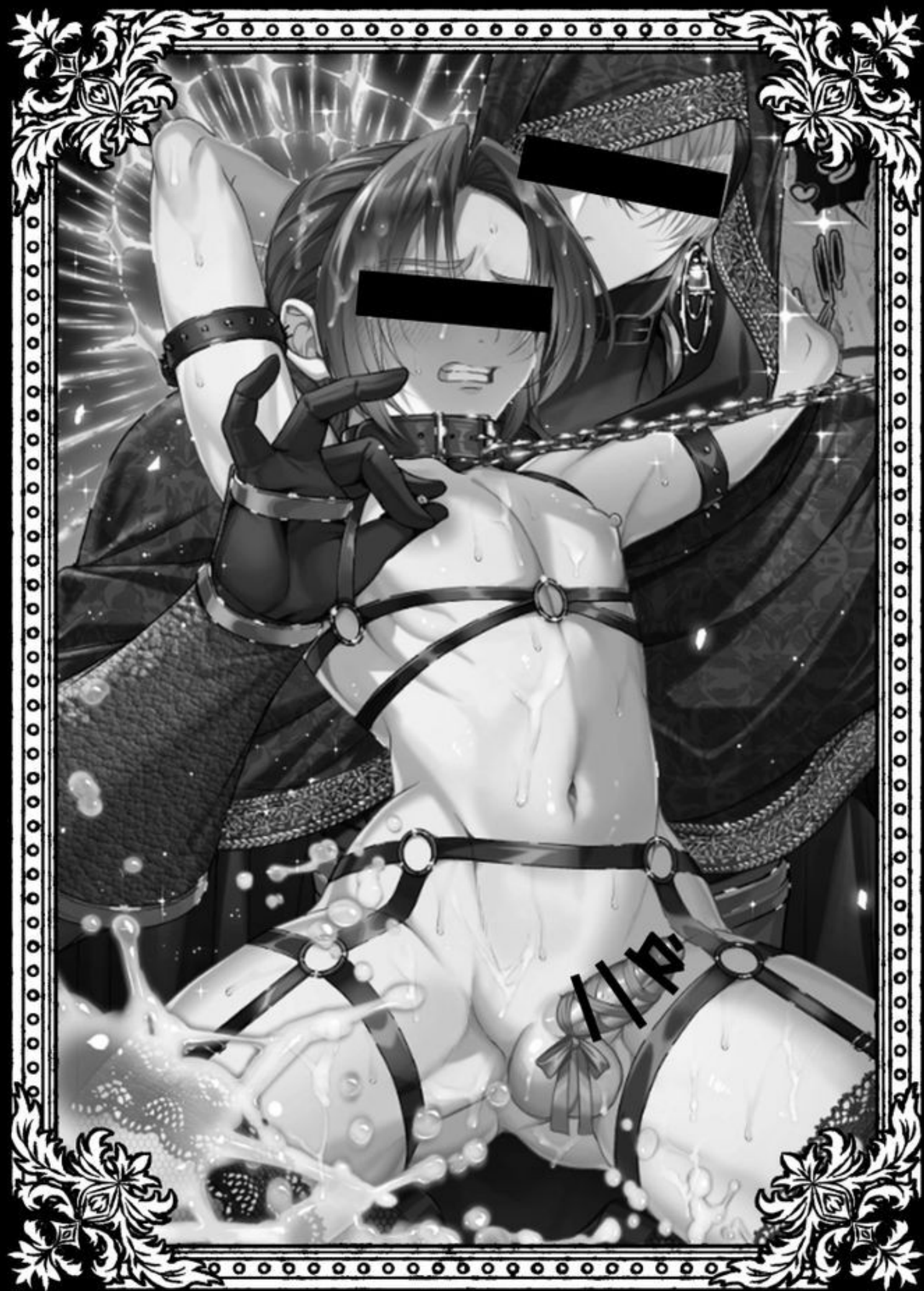
♥NTR
♥射精管理
♥快樂墮ち
♥巨漢役人×メス顔公爵

傲慢令息が
NTR
敗北
イキするまで！

R18
—FOR—
ADULT
ONLY
—
作:pass

N — R 公爵







WARNING

18歳未満閲覧禁止です!!

※描かれているすべての登場人物は18歳以上です。

この作品はフィクションです。

実在の人物・作品・団体・出来事・場所などには一切関係ありません。

本書には以下の内容が含まれますのでご注意ください。

- 同性愛
- NTR表現

ADULTS ONLY 18+!!

*All characters depicted are over the age of 18.

This is a work of fiction.

Any resemblance to actual persons, living or dead, works, organizations, events, or locales is entirely coincidental.

Please be warned that this work contains:

- Homosexuality
- cuckold



- 免責事項: 本作品に掲載されている情報、または本作品の利用によって生じたいかなるトラブル、損失、損害に対して作者は一切の責任を負うものではありません。
- 本書のAI学習、転載、編集、トレース、転売、使用を禁止します！

- Disclaimer: The author takes no responsibility for any trouble, loss, or damages resulting from the information posted on this work or usage of this work.
- DO NOT AI LEARNING, REPOST, EDIT, TRACE, RESELL OR USE MY WORKS!

ハルバート家
公爵令息
テオIIハルバート

貴殿の
度重なる
非道の数々

今ここで
断罪させて
もらおう



…これはこれは
レオルド
王太子殿下

このような場で
何を言い出す
かと思えば…

流石妾の子
礼節を！

黙れ

此度の社交会は
もとより
これが目的だ

昨年行われた
宴席での
毒物混入を
はじめ

幾度もなく
行われた
暗殺行為

貴殿の行いは
国家反逆に
ほかならない

酒席に
水を差す行為
感心しませんな

長年国に
仕えてきた
公爵家故
目をつむって
きたが…

もはや
見過ごす
ことはできん



どうやら
現国王は
教育に興味が
なかったよう

まさか
証拠もなく
大衆の面前で
辱めるとは



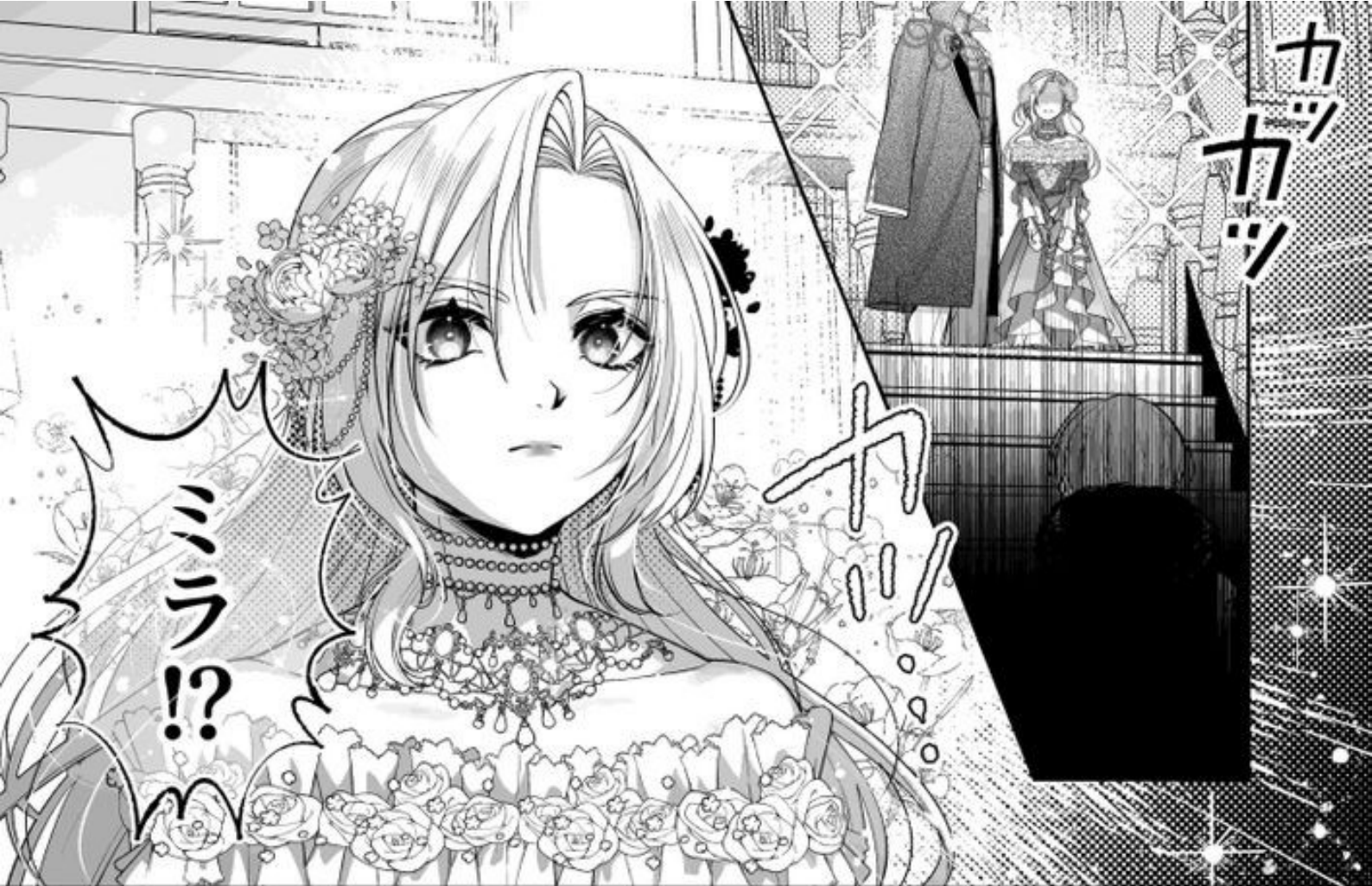
…いやはや



己が忠臣を
疑うなど
誠に残念で



証拠ならば
ここに
ございます



こちらが綴った
テオ様が暗殺の
王太子様
計画書

毒物の手配から
日時まで
詳細に記されて
おります

疑うのであれば
筆跡などを調べ
構いません

貴方が罪を
認めるならば
お傍にいた
つもりでした

ですが…
それも
今日までです





ありがとう
ミラ!

まさか君が
証人になって
くれるとは思
わなかった!

君のおかげで
ようやく彼の
所業を暴ける!



そ…
そんな

礼は
不要です
殿下

私は
テオ様に罪を
償ってほしい
だけで…



…それに

貴方にばかり
任せては
居られませんから

—レオルド



がっ!?

私に触るな!

離せ!
不敬者め!

サ
ワ
ワ

サ
ワ
ワ

おのれ
おのれ!!

ミラを
誑かしたな
貴様あ!

お前もだ
ミラ!
この尻軽女が!

誰が口減らしの
田舎令嬢を
貰ってやったと
思っている!

私がいなければ
お前の家など
とうに没落して
いたんだぞ!

おれが…俺が
どんな思いで
お前を

おまえをお……

テオ様…

フツ



貴方との日々は
かけがえのない
ものでした

こうしなければ
貴方を止める事が
出来ない私を

どうか
許して
ください

あ…



私はー

いやだくれ
ミラ

皆様



私
ハレイピア侯爵家と
ハルバート公爵家は

本日をもって
婚約を
解消致します

この場に
いらつしやる
皆様がその証人

異論のある方は
いらつしやい
ますか

あゝのくそ
禽獣が！
きんじゆう

何が断罪だ！

王家の血筋を
穢す庶子の
くせに！

あんな男に

ミラを……！

——これは
驚きました

公爵家の
貴族様と
伺ってましたが

この私を
自宅軟禁だと？！

なぜ
あやつごときに
裁かれなければ
ならん！

ギッ

＃イ
〇〇〇〇



普通なら
死罪の貴方を
王太子自ら
減刑したと
いうのに

随分な
物言いでは
ありませんか？

ふん
私の何が悪い

そもそも
あやつが
先に口を出して
きたのだ

妾の子の
くせに私に
指図ばかり

その上庶民の
食いブチのために
領土を渡せと
言ってくる始末

この国があるのも
我が公爵家の
外交あつてのこと

だというのに
我々を
蔑ろにするなど
不敬にも程がある

どうせ替えなど
ごまんといる
のであろう？

ならさつさと
消したほうが
国のためにも
なろうて

—これは
噂以上に手の
かかるお人だの

ふん…
なぜ貴様の
ような
下級階級に

しかし処罰は
決定事項…
必ず受けて
いただきます

こんな事
知れたら父上が
黙ってないぞ

—まだ
わかりま
せんか？

なぜあなたの
屋敷に俺が
入れたか

なぜだれも
止めなかつた
のか

…なんだ
それは

ハルバート家
現当主！

テオ殿の
お父上からの
言伝です

父上から!?

今日より一年
王家に
お前の身元を
一任した

一時の感情に
身を任せ
蛮行を働くなど
言語道断

我が
ハルバート家
長子デオ

もしこの一年
罪を償う
姿勢が見られ
なければ

しかと罪を
受け入れ
改めろ

お前を
ハルバート家から
破門とする

なっ



ふざけるな！
こんなこと
父上が言う
はずがない！

偽造したな！
この卑しい！
下級民めが！

そんなことを
したところで
俺にメリットは
ありません

それに貴方が
一番ご当主様の
サインを見ている
でしょう？

っ



そんな

破門だ

なんて



ただ一言



具体的な
指示は伺って
ありません

：しかし
処遇を
任された
もの



悪事を
考える事が
できない程度に

こらしめれば
いいとだけ



おや…
いいんですか？
そんなことして

ご当主様は
罪を償うよう
仰られた



ここで拒めば
二度と
ハルバート家の
門はくぐれない
でしょうね

ぐっ…



バァーッ
触るな！！

ご安心ください

抵抗しない限り
手荒な真似は
いたしません

耐えられるか
どうかは貴方
次第ですが……

仕方
ありません

それが貴方の
罪と罰なの
ですから

これから一年
よろしくお願
いいたしますね

テオ殿



「この
変態が…!!」

最悪だ…!!

キヤッ
グチュッ
グチュッ

何の目的で
減刑したのかと
思ったが…
なんて
悪趣味な…!!

これが狙いか
王太子め…!!

ズン
ズン
ズン



ダメです

今日から
排泄以外で
ちんぽを使うのは
禁止です

はっ!?

罪人の貴方に
その権利が
あると?

な...!

そんな事
貴様に決められる
筋合いはないわ!

いいんですよ?
ここで貴方の
ちんぽを潰しても

その場合
継承権が
どうなるのかは
不明ですが...

公爵家など
俺には関係ない
事ですし

口答えですか

くっ...!!





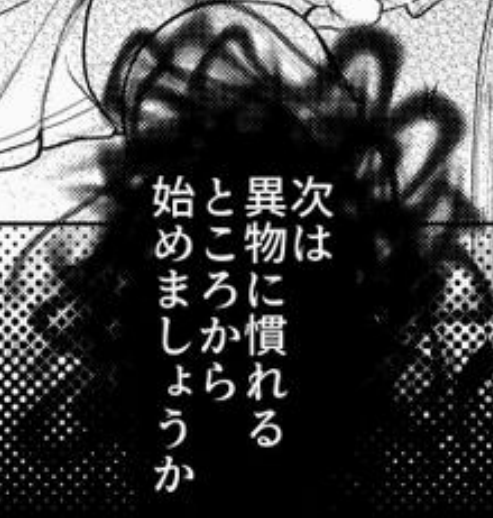
まさか公爵家と
あろうものが
お漏らしとは

そんなに
俺が怖か
った
ですか？



：初日は
ここまでにして
おきましょう

テオ様の事も
知れた
ことですし…



次は
異物に慣れる
ところから
始めましょうか

それから
刑吏による
懲罰の日々が
始まった

今日はこちらの
奉仕からして
もらいましょう

奉仕って…
なんの

ひっ

なんて
グロテスクな…

私のものとは
大きさも形も
違うではないか！

つくそ…！

それは人権を
無視した
屈辱の数々…

まさか
できないとはね？
言いませんよね？

罪を償う
姿勢が見られな
ければ

こんなもの
まるで

いかが
でした？

日夜
刑吏によって
性を弄ばれ

男としての
プライドを
へし折られる
日々

挙句
貞操帯を
付けられた事で

排泄まで
管理され
始末だつた

—だが
私は負けない

私より強い
オスのにおい

気持ち悪い…

今に
見ていろ…

ふう…
いいな

お貴族様の
ぷにぷに口内
で外悪くない
ですわね…!!

私は誇り高き
公爵家の
長子だ

おつきい
くるしい…

屈するものか

刑期を終え

ああ…でるっ
でます…!!

久しぶりに
濃いのが
来るっ

しっかり
受け止めて
ください…!!

解放される
その日
必ず…!!

必ず貴様を
殺してやる…!!



そして……



ステイレット様

…これは
レイーピア様

ご機嫌麗しく



テオ様は
いなかお過ごし
なにかと…



…いかがされ
ましたか？

いえ…その



テオ様の
処遇を
一任され
ようです
ね

ええ

よく
ご存じで



…彼の
様子が
気に
なるん
ですか？



わざわざ
公衆の
面前で

婚約破
棄を
言い渡
したと

それは…

テオ殿の
報復を

恐れて
いるのですか？

ああ…
もしや

え

無理も
ありません

王太子を傷つけ
己が婚約者を
侮辱する
ような男です

プライドの
高い彼が何を
考えるか…

想像に
難くない

しかし刑吏を
務め初めて
幾数年

一度も罪人を
逃がしたことは
ありません

安心して
俺にお任せ
いただければと…

い…いえ
別に私は

ミラ！





彼とは
長い付き合
でね

立場からか
貴族にあまり
いい感情は
持っていないんだ

—そんな人に
テオ様を
任せたのですか

そんな
フイラル
だからだよ



根っからの
貴族の彼には
相應しいだろう？



戻りました

いい子に
お留守番
出来ましたか？

テオ殿

東洋から
取り寄せた
媚薬を焚いて
見ましたがい

具合の方は？

ぐうう

だれが
教えるかっ！

言わない
のなら

こちらで
確かめるまで



やめっ♡

流石に一日中
入れていると
ぱっくり
開いてますね

少し縁が
赤くなって…
可哀想に

触るなあ…!!

中も敏感に
なって…

触る度に
ピクピク肉壁が
はねていますよ

あぁ♡

いい反応です

ここを抉ったら
もっといい声で
鳴けそうですね…♡

んおお

おほお

んお

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡



ブジーも
相まって
気持ちいい
でしょう……♡

壊れろ
壊れろ
壊れろ

吐精できない
ちんぽが
びくびく震えて
惨めですね♡

壊れちゃうっ！
壊れるからア！

きちんと
メスイキ出来れば
壊れません

ほら
頑張って

いや、やだ！
グリグリ
しないであ！！





な、何を
するつもりだ
貴様!?

む、むりだ!

入る
わけがない

そんなもの
入れたく...!



無理じゃない

入れるんです

初物はやはり
きついですね…

うふっ
♡

気を抜いたら
全部搾り取られ
そうだ…♡

全く…

これが懲罰だ
というのを
忘れましたか？

入る入らない
など貴方の
意思は関係ない

今の貴方は
俺のちん抜き穴
なんですから

いい加減
立場を
わきまえて
いただきたい！

ふざけるな
何が懲罰か…！！

ただ貴様の欲を
ぶつけている
だけではないか…！！

絶対に
許さん！

それ！
それ！
ふ…

まったく
反省の色が
見えない目

それでこそ
天才殿です！

簡単に
折れたら
つまらない♡

分かりますか？

っはあ
やはり
上より下の
穴の方が
優秀ですね♡

貴方のけつまんこ
俺の子種求めて
絡みついて
きますよ♡



男の喜ばせ方を
心得ているって
来ましたね

俺も鼻が
高いです♡



ああ
くる…♡

聞こえますか？
睾丸が精子を
作っている
音が♡

刑事の汚れた
ザーメンが
受精を
待ち望んで
いますよ！



まったく
普通はここまで
仕上がりません♡

流石
卑しく肥えた
お貴族様です♡

遺伝子まで
染みついた
高潔さ

出さなければ
それこそ
不敬だ…♡

やだ

やめろお

ちがっ



おお…でる

でるぞ！

下級
ザーメンが
お貴族様の中で



ほかの男に
移ろいだあの女が
悪いのに……!!



畜生……
なぜ
この私が……

人の女に
手を出した
あの男が悪いのに



俺は正直

貴方が
なにをしたかも
なんてどうでも
いいんです



昔から人が
蹂躪される様が
好きでね

どの色ごとよりも
摩羅が高ぶって
仕方がない

とくに貴族の
落ち様は
最高だ

貴方達の
矜持をへし折り
踏み荒らす
瞬間……

それが俺に
とって何よりの
生きがいです
から





せいぜい
最後の日
まで
頑張っ
て
くだ
さい



罰が
終わった
その日
貴方が一
体
どうな
って
いるの
か



楽し
みに
して
いま
すよ
……
♡

自分が自分でなくなっていくのを感じた









ちがうう♡

—こんな
あられもない
行為に



外のほうが
しまり
いいとは…♡

もしや誰かに
見られるほうが
感じるんですか？



期待してしまっ
公爵令息では
なかつた！



—なぜ



流石は公爵様
庶民には
考えつかない
嗜好をお持ちだ♡

なぜ
こんなことに
なった

憎らしい

屈辱だ

恥ずかしい

こんな思いを
するくらいなら
破門の方がましだ

：そもそも
公爵家に
帰ったところで

罪人の私に
居場所などない
というのに

なにを
意地になって…



今日からお前の
婚約者となる
ミラレーピア様だ

彼が貴方の
婚約者となる
テオルハルト様だ

決して
粗相がないよう
仲良くするんだぞ

おい

なにか
欲しいものは
あるか

：私まだ
誕生日では
ありませんが

それぐらい
知っている

父上が
婚約者同士
仲良くしろと
言っていただろ

体裁だけでも
整えるべきと
思っている

…それで
贈り物ですか

宝石や装飾品
なんでも
言ってみろ

この僕が用意
できない品など
のだから

不要です

話は
それだけ
ですか？

なっ…!!

この僕の
好意を無駄に
するつもりか！

ご好意は
感謝いたします

—ですが

物で
人を縛る
…なんて

貴方はそれで
満足なの
ですか？

はあ？

夫婦とは
互いに
愛し合うもの

そんな家庭を
築くのが
私の夢でした

たとえそれが
政略結婚で
あったとしても

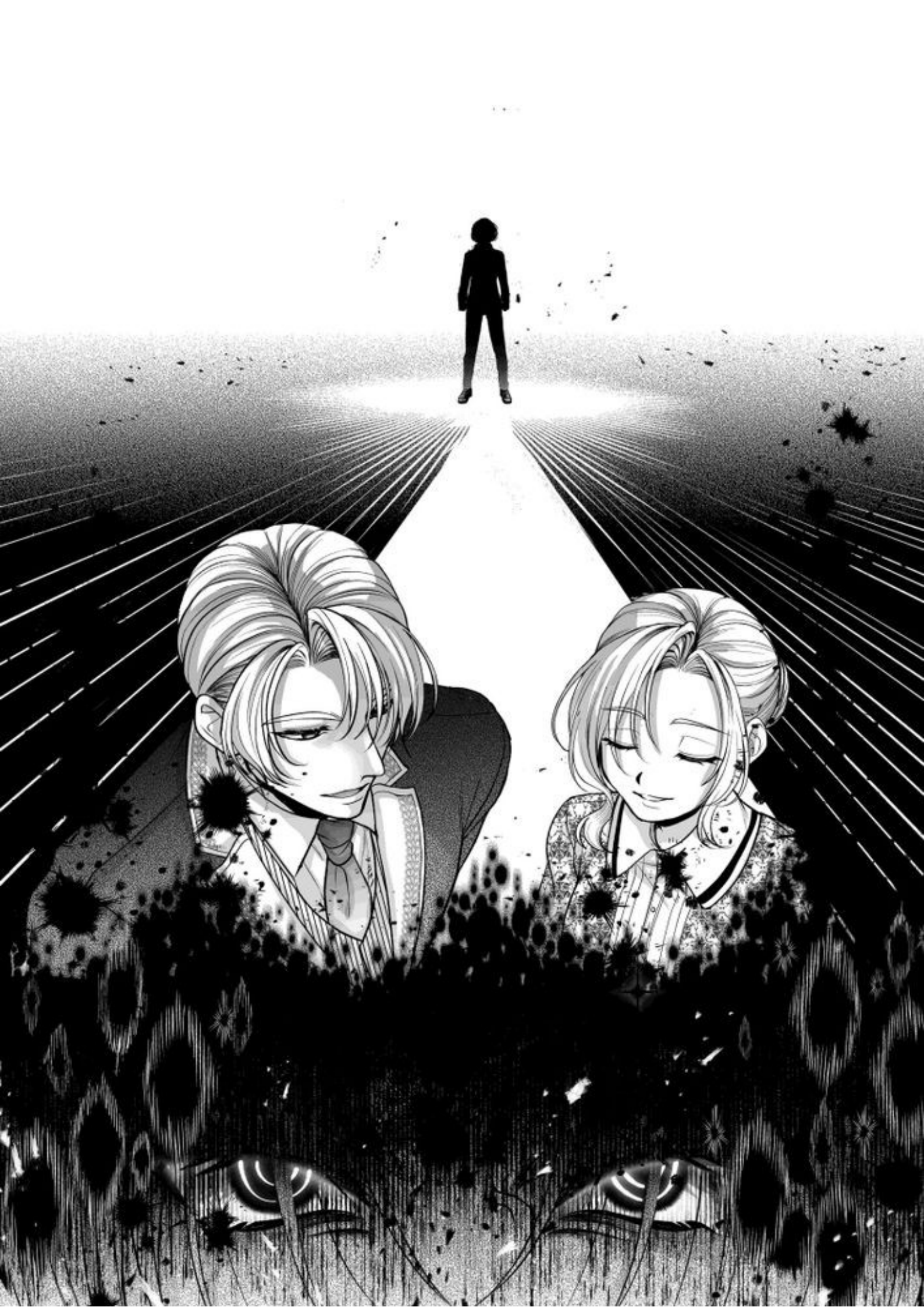
私はあなたと
本物の夫婦に
なりたい

…変わった
ヤツだな

よく
言われます

—テオ様は
違うのですか？







—
ミラ

お前にもう一度
会いたい…



テオ殿の
様子はどうか
ファイル

以前に比べて
随分大人しく
なれましたよ



もうすぐ
約束の1年か…



…まあ
形だけ
でしょうが

そうか…
さすが我が
刑吏
優秀だな



王家の名誉を
守ってくれた
お前には褒美を
やらねばな



公爵家故
相応の刑罰を
与えるのは
難しいと思っ
たが…



近隣住民が
噂を
していたぞ

一体どんな
恐ろしい罰を
与えているのか
とな

おや
聞かえて
おりましたか







さい
つ
さ
と
…

私の濡れ
濡れまんこに
ケツ

お前の
特濃懲罰
ザーメン
ぶっ
かけろ！



テオ殿は
本当にこの1年で
変わられた…

いいこですね
きちんと
おちんぽに
挨拶できて…♡

今のあなたは
どこに出しても
恥ずかしくない

ずきずき…



立派な

メス穴
公爵ですよ♡

—っいいい♡
締めまりだい♡

ばっちりちんぽ
迎え入れる準備
できてますね♡

きゅんきゅん
吸いついて
上出来です…♡



ですが
こんな体で
元の生活に
戻れますかね♡

だまれ
はっ

誰のせいで
こんな体にな
ったと…!!



誰が反省なんぞするか……!!

刑が終わった
暁にはまず
こいつを殺し

そのあとは
あのくそ王太子を
ぶっ殺す……!!

そして

そして
私は

ああ……
そういえば

今日
王太子殿下から
お呼び出しが
ありまして……

……?



何を
期待して
いたの
だろう

決別なんて
とうにしてい
た
ではないか

…じゃあ私が
公爵家に戻る
意味は…？

テオ殿？



全く最中に
よそ見など
けしからん...

しごき穴
としての自覚が
足りないのでは？

ほらチンポが
悲しむ前に腰振り
謝罪してください







これ以上
ちんぽを
イラつかせるな!!

全く...!!
まだまだ余罪が
ありそうですね

これは王太子に
ご報告して
刑期を考え
直さなければ!

えへへ...♡
刑期伸ばして♡

私もっと
おちんぽ様と
一緒にいたい♡

罰だと
でいっ
しょう!

そうやって
ちんぽしながら
今まで許されて
来たのでしょう!

あへえあな♡
ごめん♡

この淫乱
メス穴公爵め♡

貴方が
反省するまで
責任をもって
種付けを
行いますから♡

俺の
特濃ザーメンで
更生させてやる♡

ありがたく
受けとめなさい♡♡

はひいっ♡♡

日夜、人目関係なく
ズボズボに
けつまんこを
分らせてやります♡

おら
いくぞ♡♡

よろしくおねがい
しましゅう♡♡♡

はーはー





こうして
私の公爵家としての人生は終わった





私は刑期の
延長により
公爵家から破門

国を追放され
辺境の地へと
追いやられた

憎んだ人
愛した人…

彼らが
今なにを
分らないか
はして

—でも
それでもいい

ガチャ
テオ殿

どうでもいい

だって
私にも

—おかえり
なさいませ♡

おちんぽ様…♡

愛する
ものがいるの
だから—♡



製作：pass

無断転載や
AI学習への使用・複製は
絶対におやめください。

傲慢令息が



イキするまで

UNTIL THE ARROGANT SON IS DEFEATED IN NTR~



ハテオ バルド

★身長階段

200cm

185cm

165cm

155cm

★靴
テオは別に身長が
低いわけではなく、
周りの男がですぎる
厚底やヒール靴を
履いているため

★扇子
幼少期、婚約者・ミラから
始めてもらった誕生日プレゼント
大切な場面では
いつも持ち歩いている

★家系図



.....
あと前後に
9人腹違いの姉弟がいる

レオルド
王太子

レオルドとフィルは
いとこ同士

フィル

機れとる!!



たすけをえ

ふか
フィル

★幼フィル
昔己をいじめてきた近所の
子供にケガをさせたことがある

その時に味わった高揚感が忘れられず
見事に性格&性癖がねじ曲がった

★断罪式
フィルは貴族ではないが、め
その場にはいなかたが、め
あとあととオオのやらかしを
聞かなくてうきうきでオオの
元へと向かった

もともとというんな話を
レオルドから聞いており
テオを手に入れた日を楽し
今か今かと楽しみにしていた

フィル
ス

トツレイテス